

令和元年度 鉱山保安推進協議会会長賞（石灰石の部） 募 集 要 項

鉱山保安表彰実行委員会 石灰石鉱業協会事務局

石灰石の部の被表彰者の募集では、石灰石鉱業協会会員の鉱山・事業場であって石灰石鉱山能率年報に記載された鉱山・事業場を対象とし、(1) 鉱山・事業場表彰の部及び (2) 個人表彰の部のそれぞれについて以下の通り被表彰候補を募集いたします。

(1) 鉱山・事業場表彰の部

- 1) 鉱山・事業場の表彰候補は、保安水準の向上に努め、他の模範となる鉱山又は事業場のうち、当該表彰規程第4条の対象要件を満たすものであって当該鉱山・事業場における保安状況や過去の表彰実績等を総合的に勘案し、審査決定いたします。
- 2) 石灰石鉱山の推薦数：若干
- 3) 表彰候補の推薦にあたっては、無災害稼働延時間数等の必要事項を記入した鉱山保安推進協議会会長賞被表彰候補推薦書（別紙2）を作成し、協会事務局に提出いただきますようお願いいたします。

(2) 個人表彰の部

- 1) 個人の表彰候補は、所属鉱山・事業場において保安水準の向上に努め、他の模範となる個人のうち、表彰規程第5条の対象要件を満たすものであって所属鉱山・事業場の保安状況、個人の功績や過去の表彰実績等も総合的に勘案し、審査決定いたします。
- 2) また、個人表彰候補の募集にあたっては、各鉱山・事業場において日頃から保安に貢献している者に対して公平な表彰機会を提供する観点から、毎年公表される石灰石鉱山能率年報における採鉱量及び延べ人員のデータを基に鉱山規模に応じたクラスを以下のとおり設定、各クラス別に推薦候補者を募集することとし、クラス別に推薦者を選考いたします。（詳細は別紙1参照）

鉱山規模別クラス区分

クラス区分	年間採鉱量
I	600万t以上
II	240万t以上～600万t未満
III	60万t以上～240万t未満
IV	60万t未満

- 3) 石灰石鉱山の個人推薦数：各クラス別に3～5人、合計15人程度
- 4) 応募にあたっては自鉱山がどのクラスに所属しているかを確認し、所属鉱山・事業場の保安状況等必要事項を記載した鉱山保安推進協議会会長賞被表彰者候補推薦書（別紙3）を作成し、当協会事務局に提出いただきますようお願いいたします。

(3) 応募締め切り：令和元年 7 月 26 日（金）

(4) 提出先：石灰石鉱業協会 保安部：中塚、吉野

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-7-1 瀬木ビル 4 階

TEL 03-5687-7650(代) FAX 03-5687-0800

※募集要項、推薦書用紙および会長賞表彰規程全文は協会ホームページ
(<http://www.limestone.gr.jp>) からダウンロードできますのでご利用ください。

(5) 表彰者の選考

①応募された被表彰者候補については保安表彰候補選考委員会で審査を行い、石灰石鉱山の推薦者を決定し、当協会から鉱山保安表彰実行委員会に推薦いたします。

②鉱山保安表彰実行委員会では各団体から推薦された被表彰候補の審査を行い、本年度表彰者を決定いたします。

(6) 表彰式

令和元年度全国鉱山保安表彰式と併せて令和元年度鉱山保安推進協議会会長賞表彰式を行います。

1) 日時：令和元年 10 月 8 日（火）午前 11 時～

2) 場所：KKR ホテル東京 10 階 瑞宝の間

（東京都千代田区大手町 1-4-1 TEL 03-3287-2921）

(参考) 鉱山保安推進協議会会長賞表彰規程の抜粋

(表彰の種類)

第2条 会長賞の対象は次のものとする。

(1) 鉱山・事業場

(2) 個人

～省略～

(鉱山・事業場に対する表彰)

第4条 鉱山・事業場に対する表彰は、保安水準の向上に努め、他の模範となる鉱山又は事業場であって、最近3年間に鉱山保安法施行規則第46条第1項に係る災害、事故その他の事象が発生していないもの(第2号については3日以上休業災害に限る。第4号、第18号～20号、22号を除く。)またはこれに相当する事業場を対象とする。

(個人に対する表彰)

第5条 個人に対する表彰は、次のいずれかに該当する者であって、一～四に掲げる者については最近3年間に重大な法規違反もしくは軽傷以上の罹災がない又は鉱害を発生させていない者を表彰の対象とする。

- 一 鉱山又は事業場の保安に7年以上携わり、顕著な功績のあった者
- 二 保安技術の改善等により、保安水準の向上に顕著な功績のあった者
- 三 鉱山又は事業場の保安教育に7年以上携わり、保安教育の推進向上に貢献した者
- 四 10年以上無事故で鉱山・事業所に勤務し、かつ、職場における災害防止の推進に模範となっている者
- 五 災害に際して、その拡大防止又は人命救助等の行為をした者
- 六 前各号に掲げる者以外の者であって、役員会が特に表彰に値すると認めた者

(注) 上記表彰規程の詳細は石灰石鉱業協会ホームページでご覧になれます。

平成30年度石灰石鉱山能率年報記載鉱山一覧

中規模以上鉱山

クラスⅠ

	会社名	鉱山名
1	日鉄鉱業(株)	鳥形山
2	大分太平洋鉱業(株)	新津久見
3	(株)戸高鉱業社	戸高
4	宇部興産(株)	伊佐
5	秋芳鉱業(株)	秋芳
6	太平洋セメント(株)	峩朗

クラスⅡ

	会社名	鉱山名
1	小倉鉱業(株)	小倉
2	三菱マテリアル(株)	東谷
3	八戸鉱山(株)	八戸石灰
4	武甲鉱業(株)	武甲
5	(株)イシザキ	藤原
6	龍振鉱業(株)	大船渡
7	日鉄鉱業(株)	尻屋
8	高知太平洋鉱業(株)	土佐山
9	明星セメント(株)	田海
10	大分鉱業(株)	新大分
11	龍陽興産(株)	重安

クラスⅢ

	会社名	鉱山名
1	琉球セメント(株)	安和
2	菱光石灰工業(株)	宇根
3	デンカ(株)	青海
4	船尾鉱山(株)	船尾
5	日鉄鉱業(株)	新津久見
6	秩父太平洋セメント(株)	叶山
7	三星礦業(株)	愛宕
8	香春鉱業(株)	香春
9	関の山鉱山(株)	新関の山
10	秩父太平洋セメント(株)	三輪
11	石山鉱業(株)	新石山
12	住友大阪セメント(株)	唐沢
13	滋賀産産(株)	伊吹
14	三菱マテリアル(株)	長坂
15	(株)技建工務所	宇部苅田
16	日鉄鉱業(株)	井倉
17	JFEミネラル(株)	芳井
18	四国産産(株)	白木谷

小規模鉱山

クラスⅣ

	会社名	鉱山名
1	滋賀産産(株)	多賀
2	秩父産産(株)	御堂
3	河合石灰工業(株)	河合
4	旭礦末資料(資)	新滝根
5	上田石灰製造(株)	金生
6	奥多摩工業(株)	氷川
7	吉澤石灰工業(株)	大叶
8	敦賀セメント(株)	石山
9	和賀仙人産産(株)	松川
10	足立石灰工業(株)	足立
11	中山石灰工業(株)	中山石灰
12	宮城石灰工業(株)	宮城岩手
13	(株)カルファイン	金平山宝
14	(株)トクヤマ	麻郷
15	日鉄産産(株)	東鹿越
16	安倍川開発(株)	田原
17	新産産(株)	美山
18	井倉化学工業(株)	哲多
19	旭礦末資料(資)	石の倉
20	敦賀セメント(株)	敦賀
21	風戸産産(株)	風戸
22	備北粉化工業(株)	唐櫃
23	近江産産(株)	近江
24	日東粉化工業(株)	清仙
25	訓子府石灰工業(株)	訓子府
26	北海道農材工業(株)	新士別
27	日鉄産産(株)	羽鶴
28	(株)白川マイニング	白川阿哲
29	旭礦末資料(資)	畑山
30	王子木材緑化(株)	鹿越
31	三共精粉(株)	正田
32	(株)ニッチツ	日室
33	浦河石灰工業(株)	ムコロベツ
34	井倉化学工業(株)	白谷
35	清水工業(株)	清水
36	(株)安田	歌登安田
37	香春石灰化学工業(株)	池本香春
38	日東粉化工業(株)	夏森
39	北見石灰工業(株)	上常呂
40	(株)イナサス	栃窪
41	須崎産産(株)	勝森
42	東京石灰工業(株)	東京石灰
43	清水工業(株)	春日
44	日東粉化工業(株)	鈴鹿
45	新産産(株)	名郷
46	白石工業(株)	白石肥後
47	(株)東北鉄興社	松川
48	三共精粉(株)	井ノ口
49	住友大阪セメント(株)	岐阜
50	備北粉化工業(株)	要害

合計

85

鉱山

令和元年*月**日			
令和元年度 鉱山保安推進協議会会長賞 鉱山・事業場の部 被表彰候補推薦書（記入例）			
フリガナ 会社名	×××× 〇〇〇鉱業株式会社		
フリガナ 鉱山・事業場名	×××× 〇〇〇鉱山		
所在地	〇〇県〇〇市〇〇番地		
フリガナ 代表者名	×× ××× 〇〇 〇〇 印		
平成30年度採鉱量	185,200 t 採掘鉱物名：ドロマイト	鉱山労働者数 (令和元年5月末時点)	15人
無災害稼働延時間数 (令和元年5月末時点)	254,685 時間 起点日：昭和△年〇月〇日	過去3年間の鉱害 発生の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<p>功績の概要（上記実績以外にリスクマネジメント手法の導入に関する活動状況、保安教育・保安技術の改善等参考情報がありましたらご記入ください）</p> <p>昭和△年より現在に至るまで〇年間の無災害を継続している。保安への取り組みとして従来よりヒヤリハット事例の収集・検討を行い、各作業場での危険予知訓練に活用してきたが、平成〇年よりリスクマネジメント手法による各作業の危険源の抽出と危険評価を導入し、……。また、平成〇年にはプラントにおける〇〇作業の改善を行い、……。保安向上・省力化に大きく寄与している。保安教育に関しては……。に〇〇安全講習を受講させるなど……。をしている。また入構車両に対し交通安全教育を行うなど地域への安全対策にも力を入れている。</p>			
受賞歴	平成□年度 〇〇地方鉱山保安表彰受賞		
連絡担当者氏名	□□ □□	TEL FAX	***-**-**** ***-**-****

令和元年*月**日

令和元年度 鉱山保安推進協議会会長賞
 個人の部 被表彰者候補推薦書（記入例）

会社名 ○○鉱業株式会社
 フリガナ ××××
 鉱山・事業場名 ○○○鉱山
 代表者名 ○○ ○○



フリガナ氏名	××× ×××× △△ △△
--------	-------------------

生年月日	昭和○年△月■日 満 ○才（令和元年5月末時点）
------	--------------------------

現住所	（自宅住所を記入）
-----	-----------

職名	社内：生産部採鉱課○○グループ 班長 保安管理上：作業監督者
----	-----------------------------------

管理下にある部下が該当する場合は「ある」にチェックを入れてください。

上記職制において管理する職務範囲の人数と保安状況	・管理人数：7人 最近3年間に法規違反、軽傷以上の罹災、又は鉱害の発生が <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	現鉱山勤続年数 他鉱山勤続年数 合計 鉱業経験年数	15年 8年 23年
--------------------------	---	---------------------------------	------------------

表彰の該当事項	<input checked="" type="radio"/> 一 <input type="radio"/> 二 <input type="radio"/> 三 <input type="radio"/> 四 <input type="radio"/> 五 <input type="radio"/> 六
---------	--

功績の概要（出勤状況、無事故、災害（鉱害）防止等の貢献、保安活動、人命救助等について）
 入社後23年にわたり採鉱部門に従事し、常に生産作業に前向きに取り組む一方、保安活動に対して真摯に取り組み、..... また、平成○年からは○○グループの班長として率先的に保安を推進し若手の指導にも熱心に取り組んでおり、..... などその活動は他の従業員の模範となっている。

募集要項の1.（個人に対する表彰）の該当項目に○をつけてください。（複数可）

部下を持たない方（グループ員、班員等）の場合は「1人」とご記入ください。

所有資格名称 （旧保安技術職員資格、保安管理マスター資格、その他）	普通保安技術職員（坑外、火薬） 保安管理マスター制度露天採掘技術保安管理士
--------------------------------------	--

略職歴	平成○年4月 入社 生産部配属 平成○年10月～ ○○グループ 班長
-----	---------------------------------------

受賞歴	特になし <div style="border: 1px dashed red; padding: 2px;"> 鉱山保安関係の他、火薬、危険物など関連する分野での受賞があればご記入ください。 </div> <div style="border: 1px dashed red; padding: 2px; margin-left: 200px;"> 鉱山保安法管理下の製造所等があればその人数も含めた数をご記入ください。 </div>
-----	---

【所属する鉱山に関する事項】

平成30年度採鉱量	3,254,000 t 採掘鉱物名：石灰石 クラス区分：Ⅱ	鉱山労働者数 （令和元年5月末時点）	45人
無災害稼働延時間数 （令和元年5月末時点）	541,258 時間 起点日：平成○年○月○日	過去3年間の鉱害発生の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 （有の場合は直近の発生日を記入） 年 月 日
連絡担当者氏名	□□ □□	TEL FAX	**-*-*-*-* **-*-*-*-*

別紙1の区分を参照してご記入ください。